

# 法政大学報

郵便番号 102-8160  
東京都千代田区富士見  
2丁目17番1号  
発行 法政大学  
編集 総長室

## 第34号 主な内容

進む教学改革  
スポーツ健康学部がスタート  
本学財政の現状について  
2009年度入試結果

(2面)  
(3面)  
(4面)

OB訪問・株式会社キャリアスポーツ  
代表取締役 諸隈直樹氏  
付属校短信  
2009法政フェア開催決定  
体育会の活躍

(5面)  
(6面)  
(7面)  
(8面)

最新情報は

<http://www.hosei.ac.jp/>



4月に一期生を迎えたスポーツ健康学部（スポーツ健康学部棟のフィットネススタジオにて）

# 新たな領域へ

1990年代以降、世界経済のグローバル化の進展が注目を浴びることになった。それはIT技術革新による情報化によって世界中の情報伝達時間の短縮が起きたこと、金融自由化の促進による金融取引の世界化の進展などによって、世界的なメガコンペティションが引き起こされることになった。大学においても、国際競争が激化してきている。今や大学生の世界的な移動が進み、日本の大学も国際基準、国際的評価を免れることができなくなりつつある。

2008年7月に出された「教育振興基本計画」において留学生30万人計画が打ち出され大学の国際化の促進が注目されることになった。法政大学の国際化の本格的取り組みは、1999年に新設された国際文化学部のSA（スタディ・アブロード）に始まることであろう。7言語（英・独・仏・西・露・中・朝鮮）から1言語を選択して、2年次に必修プログラムとして現地で学ぶという試みは、その新しさも多様性で注目された。それ以後も他学部にも波及し、文・経済・経営・社会の各学部で英語圏を中心にSAが行われるようになり、多くの学生が海外で学ぶようになってきた。

2008年にはGIS（グローバル教養学部）が誕生し、すべての授業を英語で行う、より国際化を意識した学部として、学生の国際交流は一段と高い段階に達している。

また大学院でも長期海外留学・学位取得支援制度を設け、海外の大学で学位取得を目指す学生を支援している。2003年からは日仏共同博士課程コンソーシアムにも参加し、日仏で博士課程学生の交流が行われている。2009年度にはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラムの一つである「ユーロ・フィロソフィー」のフランス語による授業が集中講義方式で実施された。

以上のように、法政大学において国際交流は以前と比べて非常に活発に行われているが、そこにも大きな問題がある。

第一に、海外からの留学生数はまだ学部・大学院合わせて300人程度と低い水準にあるということである。SAなどで海外へ出かけた学生が大きく変わったのと同様に、海外から多くの留学生を受け入れることによって、大学全体の学生の意識を大きく変えていくためには、ある程度の留学生数が必要である。このためには日本語研修制度の整備、留学生のための宿舎の問題など多くの課題がある。

第二に、法政大学は多くの海外の大学と国際交流を行っているが、その中心は教員各人の個人的交流が中心で、大学全体のシステムとしての位置付けがはっきりしていない。特にわが国からの情報の発信ということについては弱い。これをどう改善していくのかが大きな課題である。

現在、「明日の法政を創る」審議会に「国際化推進」作業部会を立ち上げ、これらの問題を検討中である。この答申を受けて、より一層、法政大学の国際化を中身のものにしていきたい。

## 巻頭言



総長  
増田重男

## グローバル力の充実に向けて

# スポーツ健康学部がスタート



スポーツ健康学部棟

2009年4月より多摩キャンパスにスポーツ健康学部がスタートした。第一期生は160人入学(入試志願者数は3003人)。学部棟入口には学部のサ

また、食堂を「栄養実習の場」としてとらえており、授業で得た知識を、実際に食事を摂る過程で実感してもらおうとの狙いから、一週間分のメニューにすべてカロリー表示などを行い、栄養管理・コンディショニングに役立てている。また、実習の場であることから、学生は学費の中から栄養教育費をすでに支払っている(食事代の一部は学部で負担)。スポーツ健康学部生であれば学生証を提示するだけで食事が用意されるシステムになっているのも大きな特徴である。

「スポーツ振興と個人の健康づくり」に貢献できる人材の養成」を学部理念に掲

インが設けられており、そこから先に、マルチメディア環境の整った各教室・豊富な実習室・特設人工芝グラウンドが広がっている。また、学生は学費の中から栄養教育費をすでに支払っている(食事代の一部は学部で負担)。スポーツ健康学部生であれば学生証を提示するだけで食事が用意されるシステムになっているのも大きな特徴である。

「スポーツ振興と個人の健康づくり」に貢献できる人材の養成」を学部理念に掲

## 現代福祉学部 学科再編へ

現代福祉学部長 長山 恵一



士(日本心理学会認定)の取得が可能であり、併設大学院に進む学内選抜枠を特別に用意している。学部から一貫した「臨床心理学」は東京六大学では初めてであり、心理療

学科再編の基本的な考え方として2000年に出発し、多くの卒業生を送り出している。しかし、日本の福祉イメージはまだ老人ホーム介護や3K職場といった旧来の福祉で語られる傾向があり、本学部が目指す地域コミュニティづくりや福祉心理と連携した「幅広い福祉」という考えが十分、社会に伝えられてきたとは言いがたい。こうした点を改善し、さらなる学

「福祉コミュニケーション学科」では従来同様、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格が取得可能。「臨床心理学」では認定心理



## 通信教育部 新たな学びのステージへ

1947(昭和22)年にわが国最初の大学通信教育として誕生し、以来60年以上にわたり、通信制の特性を發揮し、多くの優れた人材を社会に輩出してきた。設立当時は「職業に従事しながら就学を志望する者および通学困難である者」に対し、主として通信の方法により、広く高等教育の門戸を開放する」としてきた。そして、その後の社会変化により、その使命も変容し、「生涯学習の担い手」としての役割も付加され現在に至っている。

本学通信教育部は、「いつでも、どこでも」学ぶことができる場として、1947(昭和22)年にわが国最初の大学通信教育として誕生し、以来60年以上にわたり、通信制の特性を發揮し、多くの優れた人材を社会に輩出してきた。設立当時は「職業に従事しながら就学を志望する者および通学困難である者」に対し、主として通信の方法により、広く高等教育の門戸を開放する」としてきた。そして、その後の社会変化により、その使命も変容し、「生涯学習の担い手」としての役割も付加され現在に至っている。

## 2010年4月、大学院が大きく変わる!

この10年間の本学大学院改革は、積極的な新学部開設に伴い新たな学問領域を担う研究者、高度職業人養成に向けた研究型大学院の拡充と、規制緩和、制度改革による専門職大学院の開設という複線型教学改革であったといえる。いずれも、21世紀の「知識基盤社会」の到来、社会の多様化・高度化などに呼応する形での改革であった。本学では、こうした不断の改革を通じて、研究者や高度職業人養成に取組んできた。

この流れは、08年4月の独立大学院「政策創造研

## 教員 トピックス

2008年12月26日、30日にかけて、インド・バンガロール市で「アジア学術セミナー2008」が開催された。本学と独立行政法人日本学術振興会(文部科学省の外郭団体)、インド科学技術庁(DST)、先端科学JNセンターの4団体が共催した。

今回のメインテーマは「生命の環境応答におけるゲノム制御」で、組織委員を、行動力のある人材を育成するために創設された明教授が務め、同分野の第一線で活躍する米国(台湾)、韓国、日本、インドの研究者26人と、アジア各国から選ばれた院生や若手研究者45人が参加した。

## エラスムス・ムンドゥス・マスタートプログラムを本学で開催

欧州連合(EU)のエラスムス・ムンドゥス・マスタートプログラムの一つ「ヨーロッパ・フィロソフィー」の(08~09年度)1学期分の授業が、この4月、本学で1カ月間の集中講義方式で行われた。

エラスムス(ERASMUS)とは「The European Community Action Scheme for the Mobility of University Students」を略したもの。EU内における国境を越えた学生交流促進のための同プログラムが、日本で大規模に授業展開されるのは初めてのことだ。





日問 口訪

スポーツを通じて 人と人をつなげたい

バレーボールの日本代表選手として、2000年から2005年の6年間、世界大会で活躍した諸隈直樹氏。高校時代には「超高校級」といわれ、全日本のユース代表に選出され世界大会で3位になり、ベストスコアラワードを受賞。現役引退後は、起業家に転身し株式会社キャリアスポーツを経営する一方、今春4月から全日本男子バレーボールチームのコーチに就任。ロンドンオリンピックでのメダル獲得を目指して、新たな挑戦をスタートした。

諸隈氏は、両親が社会人バレーボールの選手であったというバレーボール一家に誕生。その影響もあり小学5年生から双子の兄と共にバレーボールを始めたという。中学生時代には早くも頭角を現し、中学3年生の時には佐賀県選抜チームに選ばれ、全国大会で準優勝を果たしている。しかし、準優勝の喜びよりも「決勝戦で負けたことが悔しかった」と諸隈氏。日本一に



法政バレーボール部は、氏が1年生の時には全日本インカレ(全日本バレーボール大学男女選手権大会)で準優勝するものの、2年生になるとチームは低迷。あまり良い結果が出せなくなり、キャプテンであった諸隈氏は本当に悩んでいた。

「中学生の時までは、バレーボールでスパイクをガンガン打ちまくるタイプ。チームプレーの大切さを本当の意味で知ったのは高校に入ってからです。春の高校バレーの優勝大会」での優勝である。目標とした「日本一」にも輝いた。

大学時代はバレーボール人生で最も辛かった4年間でもあったが、ユニバシアドの代表選手に2回選ばれて、3年生の時に世界大会で2位になったことなどが、個人的な思い出として残っているという。

「思うようにチームをまとめられない自分が悔しかった。しかし、悩んだ分、真剣にバレーボールと向き合うことができた。チームプレーの大切さやバレーボールへの情熱を再確認できたことは、その後のバレーボール生活に大変に役立っています」

大学卒業後は「富士イルム」に入社したが、1年後に「富士イルム」を退社し、起業家として活躍している。現在は、起業家としての道を進んでいる。元プロバレーボール選手をインストラクターとして派遣し、マックスバレーなどのバレーボールチームを指導する業務に携わっている。



諸隈直樹氏

Profile
もろくま・なおき
1978年佐賀県生まれ。
法政大学経営学部経営学科卒業。
バレーボール選手として、高校時代には春の高校バレーで優勝。本学体育会バレーボール部ではキャプテンを務め、ユニバーシアードの代表選手に選出。卒業後は、富士フィルムプラネットを経て、豊田合成トレフェルサに移籍。2000年から2005年の6年間、全日本男子の代表選手に選出。2008年に現役を引退し、株式会社キャリアスポーツを設立し、代表取締役役に就任。2009年4月からは全日本男子バレーボールチームのコーチに就任。

4強入りを果たしている。「キャリア」としては、大学時代の辛い経験がここで生かされたと思っていま。バレーボールの面白さ、そして「難しい」といふこと。ボールを自在に扱うことも難しいし、チームが一体となって動くことも難しい。私がバレーボールを続けてこれたのも、そうしたバレーボールの難しさに魅力を感じたからだと、諸隈氏はバレーボールの選手人生を振り返る。現役を引退後、諸隈氏は2008年5月に「株式会社キャリアスポーツ」を設立。現在、起業家としての道を進んでいる。元プロバレーボール選手をインストラクターとして派遣し、マックスバレーなどのバレーボールチームを指導する業務に携わっている。

Table with 3 columns: 08, 07, 06. Lists companies and their employee numbers for each year.

Table with 3 columns: 08, 07, 06. Lists companies and their employee numbers for each year.

2009年3月 卒業生の進路状況について
就職状況について
■就職状況について
■就職環境について
■就職活動について
■就職先について
■就職先について
■就職先について

今後とも卒業生の皆さまの支援・ご協力をお願い申し上げます。

ホームページやキャリア就職システムからの情報発信にも力を入れ、求人情報など、就職活動に役立つ情報が24時間、全国からアクセスが可能となっている。

③製造15.2%④情報・通信13.0%⑤卸・小売12.2%となり、理工系学部では①製造30.7%②情報・通信25.2%③サービス13.5%④建設8.8%⑤卸・小売6.1%であった。

### 移転3年目、全学年が共学に 主体性を育てるプログラムを整備

移転3年目を迎えた今年、してきた同窓会など、全学年が共学となった。ど、さまざまな方に支えられ、当初男子校が共学になること、2年間を順調に過ごすことができた。現在は共学も聞かれたが、入学した優秀な生徒たち、保護者、そして新しい学校づくりに尽力

### 中高

移転時は大変なフィードバックで受験準備も急上昇したが、その後も年々上昇が中高に現れたといえる。これを塾関係者らも

### 一・中高

共同関係を学ぶ機会となることを最重視している。従って、クラス分けについても、「国民的共通教育の基礎」を学習した上で、加えて進路別の学習があるという考えである。

## 信短校属付

中学と高校が一体となって2年目を迎え、6力年を見通したスパンで生徒たちの成長をどう考えるか、これが課題としてい

### 新カリキュラム完成年度

一人ひとりの進路実現を目指して

桜満開の4月7日、新入生238人を迎え、いよいよ、新年度が始まった。本校では、07年度より新カリキュラムを実施している。3年生は文系・理系に分かれての学習が2年目となり、より専門分野の学習が充実。新カリキュラムの成果が試される年といえる

### 女子高

今年度は、学内でさまざまな資料の設置を始めている。生徒一人一人の個性と意欲が、「新しい法政」を創り上げる原動力となっているのである。

## 薬物乱用防止に向けた 物理学の取り組みについて

2008年10月28日、12月8日、11日  
【実施日】11月28日、12月8日、11日  
【講師】東京ダルク・スタッフ2人  
【参加者数】3キャンパスで実施し、計183人  
【水谷修氏(夜回り先生)】  
【実施日】12月15日  
【講師】水谷修氏(夜回り先生)  
【参加者数】市ヶ谷キャンパスで実施し、計208人  
【実施日】10月27日、29日  
【参加者数】約150人  
【大森等薬物乱用防止ハンドブック】の作成・配布  
【実施日】10月27日、29日  
【参加者数】約150人

## 世界同時不況に伴う 緊急学生支援を実施

【緊急在学生支援】  
不況による失職、会社倒産等により家計が急変し、修学困難な状態になった学生に対して、一定の要件のもとで08年度後期学費の半額相当額、09年度前期学費の半額相当額を免除。  
【要件】①学部学生・大学院生で、学費の納入が困難だった学生②08年9月以降、家計が急変し、修学が困難となった学生、など。  
【私費外国人留学生緊急経済支援】  
出身国通貨の対円為替レートが大幅に下落した国(対象は韓国、オーストラリア、インドネシア、フランス、オランダ、スロバキア、ロシア、チェコ)の私費外国人留学生に対して、通貨の対円下落率が基準以上の場合、下落率に応じた一定の金額を08年度後期学費から減免した。  
【09年度新入生支援】  
地方出身新入生への緊急経済支援のため、09年度から「法政大学学生生活支援奨学金」を新設した。  
給付金額は年額12万円、給付人数は150名。  
【お問い合わせ】  
本学の個人情報取り扱いに関するお問い合わせは、法政大学総務部オレシジネット校友課までご連絡ください。  
03(3264)9952  
平日9時~17時まで

## 卒業生にかかわる 個人情報の利用目的

本学は、教育機関として、多くの個人情報を取り扱っており、個人情報保護法(2005年4月全面施行)以前から、その重要性にかんがみ、大学が独自に定めた「個人情報保護規程」などの学内規程の下で保護・管理の徹底を図ってきた。また2005年4月に「法政大学プライバシーポリシー」を策定した。今後とも学内体制や規程の運用については、法令改正、社会情勢の変化、監査結果などに応じて継続的に改善し、本学ホームページや広報誌紙で順次掲載していく。

この「法政大学報」を発送させていたが、卒業生の個人情報についても厳格な取り扱いを行う一方、卒業後にも本学と卒業生との関係を緊密にし、卒業生相互の親睦を図るために活用している。また、業務委託などで外部に情報処理を委託する場合や、卒業生組織や卒業生個人への提供についても適切な管理・監督を行ってきた。今後とも認を改めて厳格に対応していく。

本学は、卒業生カードなどで卒業生から取得した氏名、住所などの個人情報を、以下の理由のために利用している。

①大学からの広報誌・紙の送付および大学の催し物などを案内するため。  
②大学や学生会から講座の紹介などのDMを発送するため。  
③卒業生データベースを管理し、統計データなどを作成するため。  
④図書館利用資格の確認および連絡のため。  
⑤卒業後のネットワーク  
⑥本学が発行する広報誌・紙

⑦法政大学CAMPUスカートのPRおよび会員サービス実施のため。  
⑧卒業生組織(本学公認団体に限る)からの開示請求に応ずるため。  
⑨後援会組織からの開示請求に応ずるため。  
⑩卒業生(個人)からの開示請求に応ずるため(ただし、理由が妥当なものに限る)。  
⑪就職関係情報の管理のため。

【お問い合わせ】  
本学の個人情報取り扱いに関するお問い合わせは、法政大学総務部オレシジネット校友課までご連絡ください。  
03(3264)9952  
平日9時~17時まで

### 2008年度の取組

1. 薬物乱用防止・啓発セミナーの実施  
①東京都職員によるセミナー  
【実施日】10月21日、11月6日、7日  
【講師】森田貴教氏(東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課麻薬対策係)  
【参加者数】3キャンパスで実施し、計305人  
②特定非営利活動法人東京ダルク・スタッフによるセミナー  
【実施日】10月21日、11月6日、7日  
【講師】森田貴教氏(東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課麻薬対策係)  
【参加者数】3キャンパスで実施し、計305人

### 2009年度の取組

4. 正課授業への講師派遣  
【学部】デザイン工学部、人間環境学部、法学部、経営学部、情報科学部  
【対象人数】計2000人  
【講師】森田貴教氏(東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課麻薬対策係)  
(09年7月現在)

### 2009年度の取組

今後とも引き続き、各種セミナーを通じて、薬物に対する正しい知識の普及に努めるとともに、再発防止に向けて取り組んでいく。

### 2009年度の取組

今後とも引き続き、各種セミナーを通じて、薬物に対する正しい知識の普及に努めるとともに、再発防止に向けて取り組んでいく。

### 2009年度の取組

今後とも引き続き、各種セミナーを通じて、薬物に対する正しい知識の普及に努めるとともに、再発防止に向けて取り組んでいく。

### 2009年度の取組

今後とも引き続き、各種セミナーを通じて、薬物に対する正しい知識の普及に努めるとともに、再発防止に向けて取り組んでいく。



### 第2回新宿エコワン・グランプリコンテスト

## 「チャレンジ賞」を受賞

環境センター

新宿区が主催する「第2回新宿エコワン・グランプリコンテスト」で環境センターが賞状を授与された。本学は、市ヶ谷キャンパスの一部が新宿区に所在していることから、新宿区が主催する「新宿みどりのカーテンプロジェクト」や「ごみゼロデー」などの環境改善活動に積極的に参加してきた。また、市ヶ谷キャンパスでは、本学が掲げる「グリーン・ユニバーシティ」の実現に向けて、2004年度からさまざまな緑化に挑戦している。

今回のコンテストには「都心のキャンパスに憩いの場を！」と法政大学・市



新宿区長より賞状を授与



外濠校舎でサツマイモの収穫

エネ！ 4. オフィスで楽しめるペットボトル栽培の4つの取り組みについて特に高い評価を受け今回の受賞となった。今後は緑化の効果を検証するなど、この受賞を糧に、環境問題に取り組んでいきたい。



4月3日、午前9時45分より千代田区の日本武道館で2009年の入学式が挙行された。迎え入れた新入生は15学部・大学院・通信教育部を合わせ約8000人。

近年、ご父母をはじめとした参列者が増えたことから、今年度より午前、午後

## 二部制で入学式を挙行

法政大学応援団によるスティージから始まり、増田壽男総長は「大学は自由で何でもできる場所。自分で自分の問題を見出し、教員や諸施設を利用して十分追求してほしい。そして現在起

「世界を舞台に戦った試合で味わった挫折感を、チームメイトと協力し、チームがまとまることで乗り越えることができた。現在、自信と情熱を持って生きていくのは、大学時代にいろいろな経験をしたから。経験を自分の力にできるかは皆さん次第です。本気で何かに取り組み、大学生活を終える際に、私はこれに情熱を傾けるのだというものを必ず見つけて卒業してほしい」と、祝辞を述べた。

サッカー元日本代表選手で現在は解説者の水沼貴史氏(本学法学部卒)より

## 体育会の活躍

2009年春季のおもな活躍から(学年は4月現在)

**全日本ジュニアレスリング選手権で優勝**

4月に開催されたJOC杯全日本ジュニアレスリング選手権において男子ジュニアの部グレコローマスタイル50kg級で田口光成選手(文学部1年)が優勝、山田啓史選手(法学部1年)が準優勝を果たした。

**全日本学生ウエイトリフティング選抜で優勝**

4月に開催された全日本学生ウエイトリフティング選抜大会56kg級で安永和詩選手(経営学部3年)が優勝し、105kg級では深沢健志郎選手(経営学部2年)が2位となるなど活躍した。

**内田選手が世界水泳へ**

4月に開催された日本選手権水泳競技大会自由形200mにおいて内田翔選手(人間環境学部4年)が優勝、松枝孝男選手(経済学部4年)が平泳ぎ100mで3位に入賞した。また内田選手と松枝選手、金田和也選手(社会学部4年)、小坂修真選手(キャリアデザイン学部2年)はベオグラードで開催されたユニバーシアード競技大会にも出場。ローマで開催の世界水泳選手権大会には内田選手のほか、背泳ぎで中野高氏(2007年社会学部卒)、平泳ぎに末永雄太



野球部が東京六大学野球春季リーグ・全日本大学選手権で優勝

東京六大学野球春季リーグの第7週2日目が明治神宮野球場で行われ、野球部は明治大学を5対4で下し、勝ち点5の10勝1敗1分で完全優勝を飾った。

野球部の優勝は6季ぶりのこと。リーグ最多優勝を更新した。9回裏、今井諒選手(法学部3年)のサヨナラ本塁打で勝利を決めた瞬間、ナインがベンチから駆けだしホームで迎え、スタンドにつめかけた学生・卒業生などの応援団からも大歓声が上がった。

また、6月14日に明治神宮野球場で行われた全日本大学野球選手権の決勝では富士大を下し、14年ぶりの大学日本一に輝いた。今回で8度目の日本一となり、大会の最多記録を更新した。

## 進むキャンパス整備

### 市ヶ谷キャンパス

2007年度までに実施した外濠校舎、富士見校舎、市ヶ谷田町校舎、中庭整備工事などの大規模工事が竣工し、市ヶ谷キャンパスの整備も一つの節目を迎えた。2009年度は新



ボアソナード・タワー内に設置された「インフォメーションボード」

### 小金井キャンパス

小金井再開発第2期工事後半工事着工

老朽化した小金井キャンパスを約4年間かけて一新

メンテナンスや九段校舎外部階段の防錆塗装など、既存施設の整備・更新・安全性向上のための工事を予定している。

する小金井再開発第2期工事が進行中である。これまでに部室棟、東館などが竣工し、今年度から小金井再開発第2期工事の後半工事として、理工学部が主に使用する「北館」、事務部門や食堂を配した「管理棟」(いずれも地上3階地下1階建て)の建設に着手した。それぞれ2011年4月からの使用開始を目指している。

### 多摩キャンパス

昨年度より多摩長期修繕計画に基づき工事を開始。竣工後20年以上を経過し



「愛情食堂賞」を受賞した東館の学生食堂



リニューアルされた経済学部棟トイレ

「北館」「管理棟」竣工後

老朽化が進む設備を計画的

にリニューアルしていく。今年度は社会学部棟・経済学部棟のトイレ・空調設備をリニューアルする。

また、城山サッカー場を人工芝化した。最高水準の人工芝を採用することも、シヨックパッドを敷設するなど安全性に配慮した仕様となっている。

さらに、スポーツ健康学



スポーツ健康学部棟のフットサル用人工芝コート

部の開設に合わせ18号館(旧工学部棟)を改修した。フィットネススタジオや運動系の各種実験室を備えた

## 新入生合宿を開催

3月30日～31日、八王子セミナーハウスで、新入生合宿を実施した。新しく始まる大学生活を送る上で、友達づくりやさまざまな場面役立つ「コミュニケーション能力」の向上を目的としたこの合宿には、新入生116人と上級生のサポートスタッフ13人が参加し2日間のプログラムを体験した。

プログラムは講堂やグラウンドで体を動かすものから、クラス別の講義や実習、先輩・教職員と語り合う企画など、盛りだくさんの内容。2日目は応援団も駆けつけ、入学を祝してエールも送られた。

先輩スタッフの身近なサポートは新入生の不安を解消し、大学生活への期待をより大きく膨らませている。



野球部が東京六大学野球春季リーグ・全日本大学選手権で優勝

東京六大学野球春季リーグの第7週2日目が明治神宮野球場で行われ、野球部は明治大学を5対4で下し、勝ち点5の10勝1敗1分で完全優勝を飾った。

野球部の優勝は6季ぶりのこと。リーグ最多優勝を更新した。9回裏、今井諒選手(法学部3年)のサヨナラ本塁打で勝利を決めた瞬間、ナインがベンチから駆けだしホームで迎え、スタンドにつめかけた学生・卒業生などの応援団からも大歓声が上がった。

また、6月14日に明治神宮野球場で行われた全日本大学野球選手権の決勝では富士大を下し、14年ぶりの大学日本一に輝いた。今回で8度目の日本一となり、大会の最多記録を更新した。



野球場で活躍する選手たち

野球場で活躍する選手たち

野球場で活躍する選手たち